

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	CANPlus豊川			
○保護者評価実施期間	令和7年12月2日		～	令和7年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	令和7年12月5日		～	令和7年12月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業所向け自己評価表作成日	令和7年12月17日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個室が多いので、適正に合わせた活動や余暇の過ごしができる。	・利用者さんに色々な経験を積んでもらえるように、職員みんな	・グループごとに合った活動内容をより充実化させるために、日々職員間で話し合い個々の課題を共有していく。 ・個室があることで、トラブルに繋がる場合もあるため、危険予測を職員と行い、日々安全に過ごしていただける環境を作る。
2	・利用者さんの自立度が高いことから、活動の内容の幅が広い。	・色々な環境に挑戦して、何がハマるのか検討することができ	・将来必要なスキルを習得できるためには、何が必要かを考え共有していく。その中で、CANPlus豊川で何ができるのかを職員と話しあって決めていく。 ・公共交通機関などの利用の仕方等も取り入れていきたいので、事前学習なども考えていきたい。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・多機能事業所の為、職員間のミーティングや話し合いの時間をしっかりととれていない。	・多機能事業所の為、管理者がミーティングの時間に不在の事もある。その為、共有ができていない、解決できない課題も先延ばしになってしまう。	・毎日、ミーティングにその日の全職員が参加できるように午後から行う。全員が参加できることで、共有漏れを防いでいく。 ・管理者が不在の場合を考え、ノートにまとめて記録していくように工夫を行う。
2	・中高生が多い事業所の為、思春期や対人関係、発達の種類や特性により個別対応をしなければならない場面が多い。	・放課後利用時は、疲れていることも多くイライラしている方が多い。その中で活動などを行うが、対人関係や思春期によりトラブルに繋がりがやすい。 ・小グループだけでは対応できない方には個別の対応をしている為、職員人数が必要となり、全体に目を向けることができない場合がある。	・個別で行うような活動の時に出勤職員が多くなるようにシフト調整を行う。 ・事前に職員間でその日の動きや、危険予測を考えた対策を考えておくことで、いざという時に備えることができるようにする。
3			